

私の物語

ワークシートの活用を中心

- (1) 主題名 理想の実現 [1 - (4)] 関連項目 [1 - (2)]
(2) ねらい より高い目標をめざし、理想の実現をめざして自己の人生を切り拓いていこうとする意欲をもたせる。
(3) 資料名 「私の物語」(生徒自身によるワークシート)
(4) 授業の展開例

	学習活動	主な発問と生徒の心の動き	留意点
導入	1 「私の夢」についてのアンケートの結果を知る。	○先日行った「私の夢」についてのアンケート結果を発表します。 ・医者、パイロット、芸能人、公務員、パン屋さん、漫画家などのさまざまな職業 ・「絶滅危機にある動物を救いたい」、「ノーベル化学賞を取りたい」、「秘境を探検したい」などの願望	○アンケートは事前に取り、結果をまとめておく。 ○実態に応じて、順位を付けたり、意外な答えを「誰の夢か」というクイズ形式にしたりしてもよい。
展開	2 多くの人の「物語」を知る。	○みなさんの「物語」を発表してもらいましょう。 ・みんないろんな夢をもっているんだ ・えー、いったい誰の夢だろう ・みんな困難に遭っても克服してるな	○教師自ら共感を示すなど、あたたかい雰囲気の中で発表させる。生徒の実態によっては、教師が生徒の文章を紹介する形をとる。 ○具体例として、ある偉人の生涯をなぞったパターンをひとつ紹介する。 自由に書かせる。 何人かに発表させたり、後でプリントにまとめて配布したりする。
開拓	3 ワークシート「未来の私から今の私へのメッセージ」を記入する。	「私の物語」を実現するために、「未来の私」から「今の私」へのメッセージを記入しましょう。 ・途中で挫折するけどへこたれるなよ ・今からしっかり準備しておけ ・勉強は大切だぞ	メッセージの中からの気付きを発表させる。
	4 理想の実現のために必要なことは何なのかをつかむ。	夢を実現するためには、どんなことが大切だと思いましたか。 ・「今」が大切だということがよくわかった ・計画性ということが必要だと思った	
終末	5 夢をつかんだ実際の人の生き様に学ぶ。	こんなふうにして理想の実現をされた人がいます。お話を聞いてください。 ・熱烈な生き方はすごいなあ ・私も自分の夢に向かってあきらめずに前進しよう ・まず、本気になれる夢を見つけよう	偉人の生き様を説話してもよいし、地域人材をゲストティーチャーとしてお願いするのも効果的である。

私 の 物 語

希
望

そう思ったときから、なんだか、ほんとうにワクワクしてしまい、なかなか寝つかれなくなってしまった。

夢

ひょっとしたら

かもしれない。

これは途方もない考えだったけど、心おどるような響きで私の気持ちをとらえてしまった。

不
安

でも、

だったらどうしよう。

しかし、そのことは私のファイトを一段と燃えさせた。

希望は決心になった。

そして、夢は決意になった。

その時、私は何も持たない若者だった。

困
難

その上、大きな困難が私を襲った。

それは、

しかし、それに負けることなく私は懸命に努力した。

克
服

その努力とは、

あ
せ
り

成果はすぐにあらわれなかつた。私は、次第にあせりを感じるようになつた。
そんなときには私を励ましてくれたのは

夢の実現

おかげで私は歯を食いしばってがんばることができた。もう、ひるむことはな

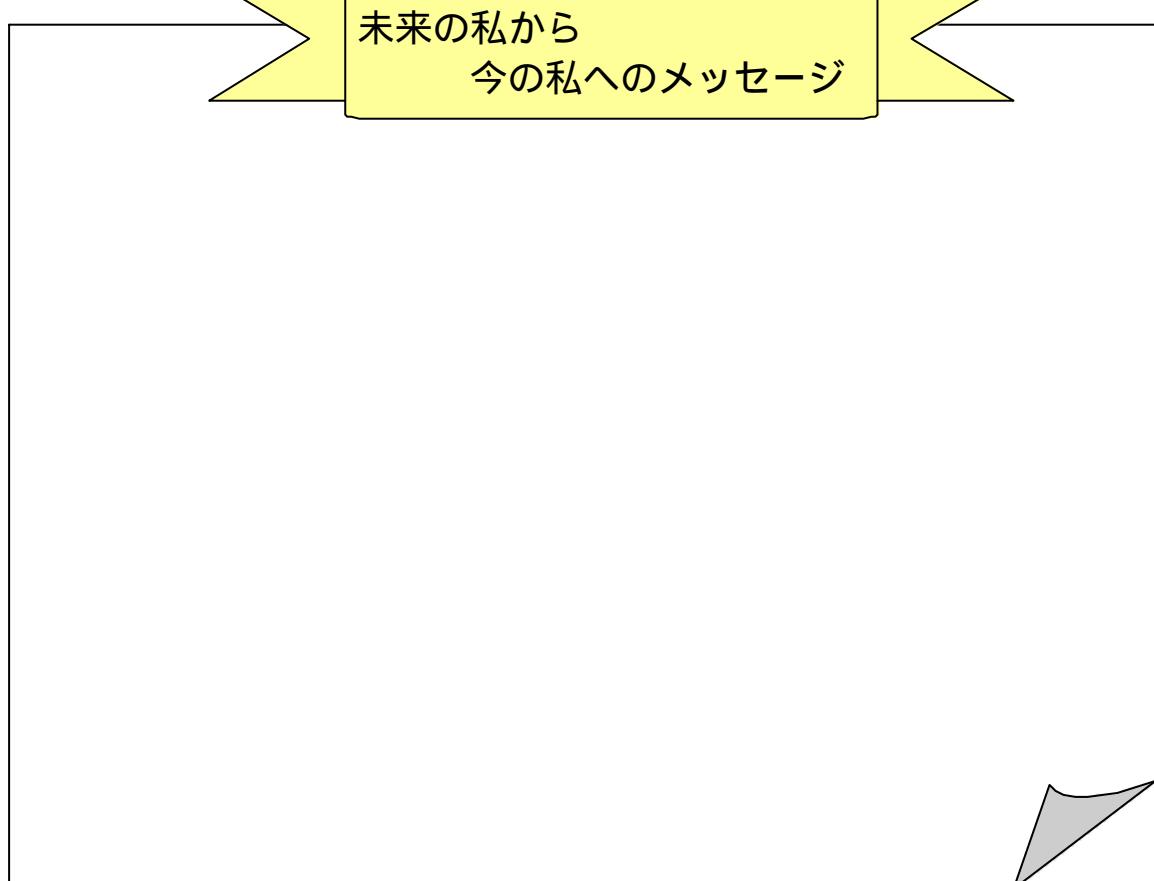
かった。自分を信じようと思った。

そして、ついに

もしあのとき、(中学生のとき)

だったら、この夢はかなわなかつたかもしれない。

未来の私から
今の私へのメッセージ



活用に生かすための実践報告

「私の物語」

1 主題の設定

中学生という時期は、希望と勇気を持って生きることに憧れる時期である。しかし、困難に直面すると簡単に挫折してしまうこともあり、理想どおりにいかない現実に悩むこともある。

ここでは、不安や困難に立ち向かう強い意志と態度を、自分自身へのアドバイスという形で主体的に考えさせていきたい。

未来の自分を豊かに想像するという色合いが濃いため、第1・2学年向きの資料である。

2 指導過程および発問の工夫

事前にアンケートを実施し、指導者が生徒の将来の夢を掌握しておけるようにした。また、事前にワークシートを配布し、「私の物語」を記入させ、書き切れていない生徒に対しては指導しておくことで道徳の時間に全員が円滑に課題に取り組めるようにする。

学級の雰囲気や指導者との人間関係の中で、「将来の夢・人気ランキング」や「これは誰の夢?」などの導入をおこなうのもおもしろいと思われる。

ワークシートでは、「希望」とか「困難」などの項目ごとにストーリーを創っていくという様式になっており、ポイントをしぼった見方・考え方ができる工夫をした。

困難を乗り越えた自分、すなわち未来の自分ら現在の自分を振り返り、今の生き方を主体的に見直し、充実させるための「未来的の自分からのメッセージ」を設定した。

3 生徒の反応（授業後の感想）

ある生徒のワークシートを紹介する。

希望「心温まるお話をみんなに読んでほしいし、忘れていた何かを思い出してほしい」

夢「ひょっとしたら小説家か作家になれるかもしれない」

不安「でも、みんなに認めてもらえなかったらどうしよう」

困難「その上、大きな困難が私を襲った。それは、物語を全く思いつかなくなってしまった事だ」

克服「その努力とは、自分が主人公になったつもりでいろんな所へいったり、いろんな人に会ったりして小さな冒険者になるか、心を子どもにしたりして、いつも自分を忘れないようにすること」

あせり「自分を励ましてくれたのは『あなた自身を大切に。この世にはあなたにしかできない事もある』という親友の言葉だった」

夢の実現「そして、ついに本が売れて、ベストセラー作家になった。もし中学生の時、親友や励ましてくれる先生たちに会わなかったら、この夢はかなわなかったかもしれない。」

この生徒は、「可能性が見えなくなったらその時こそ自分自身の力を信じよ。じつと目を閉じて自分の歩んでいく道を心の中で思え」と自ら今の自分へのメッセージを記していた。

4 実践者からの一言

とかく夢の持ちにくいといわれる現代だからこそ、臆することなく夢を語り、自分自身へのエールを贈る時間が大切であると考える。

（仁保中学校 青木雅彦）